



株主通信

第73期 フジテック株式会社
2019年4月1日～2020年3月31日

目次

株主の皆さまへ	1
セグメント別の概況	4
中期経営計画の取り組み	5
財務ハイライト	7
企業データ／株式の状況	9
株式についてのご案内	10



株主の皆さまへ



代表取締役社長
内山 高一

中期経営計画 “Innovation, Quality & Speed” に取り組みます。

株主の皆さまには平素より格別のご高配賜り厚く御礼申し上げます。
また、新型コロナウイルス感染症で罹患された方々ならびに関係者の皆さまには、
心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早いご回復と事態の早期収束
をお祈り申し上げます。

当社の第73期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業概況の
ご報告と、第74期の取り組みについてご説明申し上げます。

2020年6月

■ 市場環境について

緩やかに回復も、新型コロナウイルスの 影響で厳しい経済環境へと一変しました。

世界経済は米中通商問題など不安材料があるものの、総じて緩やかな回復が続きました。しかし、2020年に入り新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、厳しい経済環境へと一変しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行は年明け以降のため、当連結会計年度の経営成績に与える影響は限定的でした。

昇降機市場においては、中国で価格競争が続きましたが、台数ベースの需要は堅調に増加しました。その他の地域も総じて安定して推移しました。日本ではホテルや事務所向けの需要が継続した一方、マンションや店舗向けは低調でした。

このような情勢のもと、国内の受注は減少しましたが、東アジアを中心にグローバルで受注が増加し、受注高は前期比

4.1%増の1,863億円でした。2020年3月末時点の受注残高は2,078億円です。

■ 2020年3月期業績について

増収増益で売上と純利益は過去最高を 更新しました。

2020年3月期の業績は、期初に計画した売上高1,710億円、営業利益104億円を上回る、売上高1,812億円、営業利益133億円となり増収増益でした。売上高と親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を更新しました。主な増加要因は中国です。ここ数年、販売体制の見直しに取り組んできたことで、新設工事の増加に加え、販売価格の改善や原価低減による採算改善が進み、売上高、営業利益ともに伸長しました。

セグメント別の概況ですが、東アジアは中国のほか、韓国の輸出採算が改善したことで、増収増益となりました。

売上高
1,812億円

営業利益
133億円

経常利益
146億円

親会社株主に帰属する当期純利益
99億円

1株当たり配当金
50円

ROE
9.5%

南アジアはシンガポールのエレベータ新設工事の採算改善を受け、減収も増益でした。北米・欧州は米国のモダンゼーションなどアフターマーケット事業やカナダのエレベータ新設工事の増加により増収増益となりました。

一方、日本は新設事業、アフターマーケット事業ともに順調に増加し売上高が増加しましたが、新設事業で物流費や人件費などのコストが増加したことにより減益となりました。

■ 中期経営計画の進捗について

初年度から積極的に改革へ取り組みました。

2019年4月からスタートした中期経営計画“*Innovation, Quality & Speed*”では、フジテックの持続的成長と企業価値向上を目指し、筋肉質な企業体質への転換を図っています。

日本ではエレベータの主力商品「エクシオール」のフルモデルチェンジが完了し、2020年4月から販売を開始しました。

公衆衛生機能など最新の技術トレンドと一歩先の潜在的なニーズを取り入れ、業界における新しいスタンダードの創出に挑戦します。さらに、モデルチェンジと並行して設計・生産のプロセスを見直し、BIM*の活用推進、自動化設備の新規導入などで、省人化・省力化を図っています。

また、「エクシオール」をはじめフジテックの商品と魅力をお客さまへ届けるショールーム「クリエイティブスタジオ」を、東京本社（東京都港区）、ビッグウイング（滋賀県彦根市）、ビッグステップ（兵庫県豊岡市）に設置しました。「クリエイティブスタジオ」を起点にお客さまとの、より一層の信頼関係を構築し、シェア拡大へ取り組みます。

そのほか、フィールド人材の育成を担う「エクスペリエンスセンター」の設置も各所で進めています。2019年6月にシンガポール、8月にインド、そして2020年春には東京にも開設しました。“安全・安心”なエレベータを設置して、守るフィールド分野の技術者は当社の要です。グローバルで育成に注力してまいります。

*Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）の略称。コンピューター上に現実と同じ立体モデル（BIMモデル）を再現して、よりよい建物づくりに活用する仕組み

株主の皆さまへ

また、2020年2月には、昇降機の販売・据付・保守を行う英国の非公開会社Amalgamated Lifts Limitedを買収し、欧州における事業基盤の強化を図りました。英国内に有力な顧客基盤を持つ同社と、当社の高品質な技術・ノウハウが融合することで、英国におけるさらなる事業の拡大を目指します。

■ 2021年3月期について

社会情勢への柔軟な対応から、収益性の向上に努めます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした各国政府の行動抑制策に伴い、次期は経済停滞による厳しい状況が予想されます。徐々に経済活動は再開されると見込まれますが、収束時期は不透明で、景気の停滞は長引くと考えられます。

フジテックにおいては従業員やお客さまをはじめとした皆さまの安全確保を最優先に、各国政府の要請に従い在宅勤務などの対応を行っております。また、都市インフラである昇降機を維持するため、不具合発生時など緊急時の出勤要請に応える体制をとっています。出勤に際しては、自宅から現場への直行直帰など感染リスクの低減を図りながら対応を行っています。

事業においては、工期の延伸や新規着工の手控えなどが懸念されることから、減収が見込まれますが、採算性を重視した販売戦略や固定費の削減など収益性の向上に努めてまいります。また、社会情勢に柔軟に対応しながらも、中期経営計画2年目として積極的に挑戦を続け、1年目に築いた改革の土台を成果につなげてまいります。

現時点で精度の高い予想を行うことは困難ではありますが、年度後半から徐々に新型コロナウイルス感染症が収束に向かう前提のもと、2021年3月期の業績見通しを策定いたしました。売上高は前期比9.0%減の1,650億円、営業利益は同20.0%減の107億円を予想しております。

■ 配当について

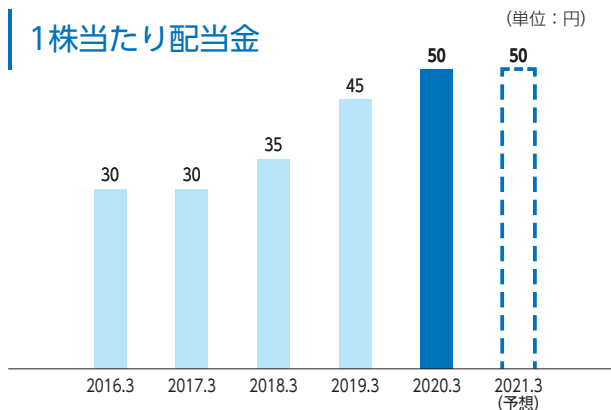
期初予定から1株当たり5円増額します。

売上高および親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高を更新したことから、配当は期初に予定していた期末配当1株当たり25円から5円増額し、30円とさせていただきます。年間配当金は50円、配当性向は40.8%となりました。

今後も株主の皆さまへの利益還元を充実させていくことを経営の最重要課題ととらえつつ、企業基盤の長期的な安定を図るための内部留保とのバランスを配慮した配分を行ってまいります。

2021年3月期の1株当たり年間配当金は50円、配当性向は54%を予定しております。計画達成に向け、フジテック・グループ一丸となってまい進してまいります。皆さまには今後とも末永いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1株当たり配当金

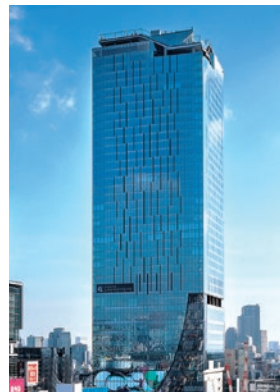
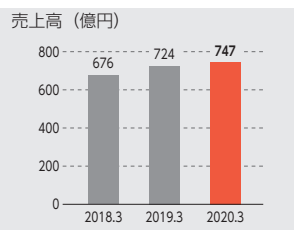


セグメント別の概況

日本

売上高 **747** 億円

売上高は、新設事業、アフターマーケット事業ともに順調に増加し、前期比3.1%増となりました。営業利益は、アフターマーケット事業は堅調でしたが、新設事業でコストが増加したことにより前期比6.0%減の48億円でした。

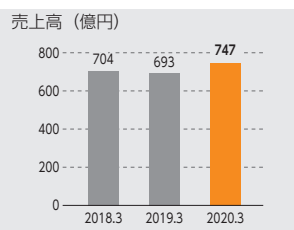


渋谷スクランブルスクエア
(日本・東京)
エレベータ13台納入

東アジア

売上高 **747** 億円

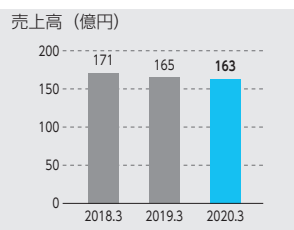
売上高は、中国のエレベータ新設工事増加により、前期比7.8%増となりました。為替変動による影響を除くと実質13.1%の増加です。中国の売上高増加や原価低減、韓国の輸出採算改善などで営業利益は52億円でした。



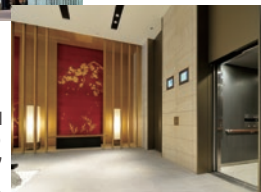
南アジア

売上高 **163** 億円

インドの売上増加に対し、シンガポールとマレーシアのエレベータ新設工事が減少したことにより、売上高は前期比1.2%の減少でした。為替変動の影響を除くと実質1.5%の増加です。営業利益は15.3%増の21億円となりました。



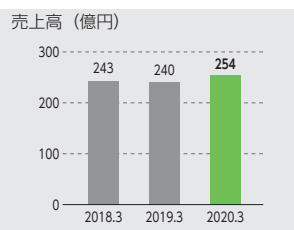
SAKURA MACHI
Kumamoto (日本・熊本)
エレベータ・エスカレータ
計23台納入



北米・欧州

売上高 **254** 億円

米国のモダン化などアフターマーケット事業や、カナダのエレベータ新設工事の増加により、売上高は前期比5.8%増となりました。為替変動の影響を除くと実質7.5%の増加です。営業利益は10億円となりました。

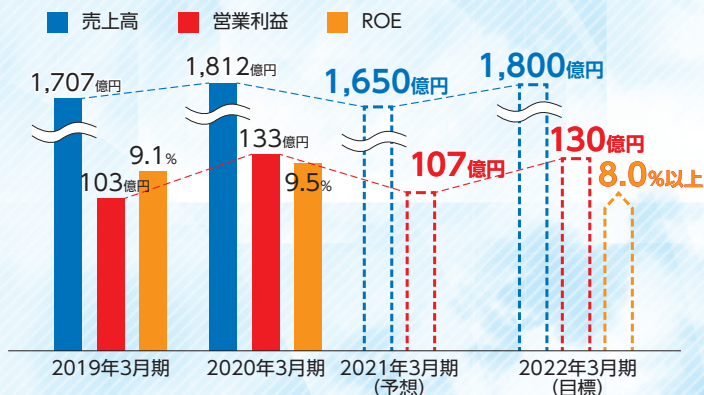


ロータスタワー
(スリランカ・コロンボ)
エレベータ・エスカレータ
計14台納入

中期経営計画の取り組み

計画達成に向け挑戦を続けます

中期経営計画“**Innovation, Quality & Speed**”では、グローバルで、お客さまの信頼に応える“安全・安心”な商品を提供し、持続的成長と企業価値向上を目指すべく、4つの行動ビジョンをもとに取り組みを進めています。社会情勢に柔軟に対応しながら、計画達成に向け挑戦を続けます。



2019年度の取り組み

1 地域戦略

■ 中国における受注拡大と利益率向上の両立を実現

顧客層を見直し、販売価格改定、代理店政策の見直しにより、受注拡大と利益率向上の両立を実現しました。

華昇フジテックでは、2019年度のエレベータ出荷台数が過去最高記録を更新。これを受け2019年11月に河北省・廊坊（ランファン）市にある本社で出荷記念イベントを行いました。競争の激しい中国市場で信頼されるブランドづくりを継続しています。



イベントの様子

■ 台湾で大型物件を受注

台湾の大手保険会社「富邦生命」の本社ビル向けにエレベータ・エスカレータ計33台を受注しました。完成後は台湾で6番目の高さとなる地上265mの高層オフィスです。エレベータのうち16台は、一度に多くの人を輸送できる2階建の「ダブルデッキエレベータ」が採用されました。

同プロジェクトの推進にあたっては台湾の現地法人フジテック・タイワンと日本のプロジェクトチームを発足しました。完成は2022年の計画です。



完成予想図



ダブルデッキエレベータのイメージ

2 商品・技術戦略

■ 日本向け新標準機種「エクシオール」の開発が完了

エレベータの標準機種「エクシオール」のフルモデルチェンジが完了し、2020年4月から販売を開始しました。感染症対策にも効果が期待できる公衆衛生機能など、最新の技術トレンドが盛り込まれた商品です。あわせて拡販に向け、東京本社、ビッグウイング、ビッグステップにショールーム「クリエイティブスタジオ」を開設しました。

NEW
XIOR
エクシオール



かご内のイメージ

Creative Studio



クリエイティブスタジオ東京

3 オペレーション戦略

■ インドで第2工場と研究塔の建設をスタート

チェンナイ近郊にあるフジテック・インドの本社敷地内に第2工場と研究塔の建設をスタートしました。インド国内および南アジア・中東に向けたグローバル標準機種の供給拠点として、2,000台体制に向けた整備を進めます。また、台湾でも1,000台体制に向け工場の拡張を行っています。



フジテック・インド第2工場と研究塔の完成予想図

4 コーポレート戦略

■ ガバナンスを強化

コーポレートガバナンス強化の一環として、社外取締役を過半数としました。経営の一層の透明性を確保する体制を整えました。



■ 研修施設「エクスペリエンスセンター」を各所で開設

フィールド人材のスキル向上に向けて研修施設「エクスペリエンスセンター」をシンガポール、インド、東京にオープンしました。

EXPERIENCE
CENTER



エクスペリエンスセンター東京

■ Amalgamated Lifts Limitedを買収

昇降機の販売・据付・保守を行う英国の非公開会社を2020年2月に買収しました。英国内に有力な顧客基盤を持つ同社と、当社の高品質な技術・ノウハウの融合でさらなる事業基盤の強化を図りました。

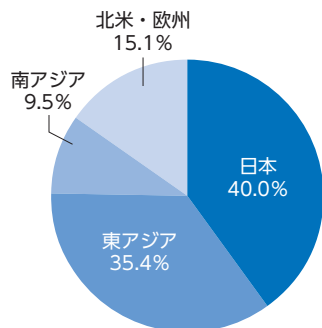
引き続き安定成長が見込まれる英国昇降機市場において、さらなる事業拡大を目指します。



Amalgamated Lifts Limitedの社屋

財務ハイライト

地域別売上高

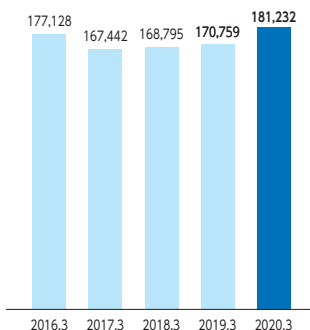


売上高

前期比
6.1%増

181,232百万円

(単位：百万円)



営業利益

前期比
29.7%増

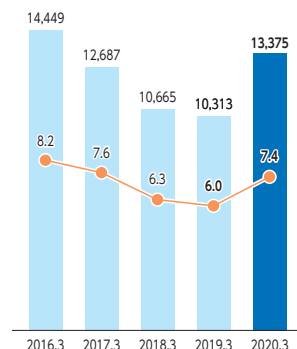
13,375百万円

営業利益率

前期比
1.4ポイント増

7.4%

(営業利益 ■ 単位：百万円)
(営業利益率 ● 単位：%)

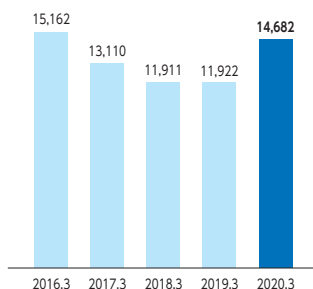


経常利益

前期比
23.2%増

14,682百万円

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する

当期純利益

前期比
7.6%増

9,916百万円

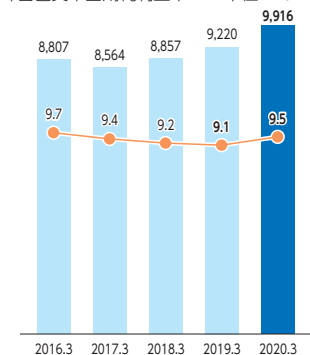
自己資本

当期純利益率

前期比
0.4ポイント増

9.5%

(親会社株主に帰属する ■ 単位：百万円)
(当期純利益 ● 単位：%)



総資産

前期末比
4.8%増

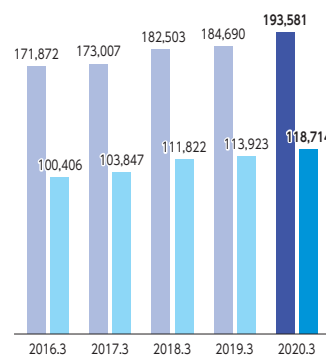
193,581百万円

純資産

前期末比
4.2%増

118,714百万円

(総資産 ■ 単位：百万円)
(純資産 ■ 単位：百万円)



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2019年3月31日現在)	当期末 (2020年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	131,181	140,884
固定資産	53,508	52,697
有形固定資産	33,948	34,188
無形固定資産	3,874	3,640
投資その他の資産	15,684	14,868
資産合計	184,690	Point.1 193,581
(負債の部)		
流動負債	66,241	70,083
固定負債	4,525	4,783
負債合計	70,767	Point.2 74,866
(純資産の部)		
株主資本	112,559	119,059
その他の包括利益累計額	△ 9,752	△ 12,145
新株予約権	40	40
非支配株主持分	11,075	11,760
純資産合計	113,923	Point.3 118,714
負債・純資産合計	184,690	193,581

Point.1 資産合計

資産合計は、前期末に比べ8,891百万円増加しました。これは主に、商品及び製品など、たな卸資産の減少に対し、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

Point.2 負債合計

負債合計は、前期末に比べ4,099百万円増加しました。これは主に、短期借入金、工事損失引当金、前受金が増加したことによります。

Point.3 純資産合計

純資産合計は、前期末に比べ4,791百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少1,005百万円、為替換算調整勘定の減少935百万円に対し、利益剰余金の増加6,268百万円によります。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 (2018年4月1日～2019年3月31日)	当期 (2019年4月1日～2020年3月31日)
売上高	170,759	181,232
売上原価	134,792	141,009
売上総利益	35,966	40,223
販売費及び一般管理費	25,653	26,847
営業利益	10,313	13,375
営業外収益	1,876	1,831
営業外費用	267	524
経常利益	11,922	14,682
特別利益	891	369
特別損失	289	558
税金等調整前当期純利益	12,524	14,493
法人税、住民税及び事業税	2,869	3,746
法人税等調整額	△ 328	△ 759
当期純利益	9,983	11,505
非支配株主に帰属する 当期純利益	763	1,589
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,220	9,916

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 (2018年4月1日～2019年3月31日)	当期 (2019年4月1日～2020年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	9,589	11,078
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,160	△ 4,341
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 4,198	△ 3,800
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 1,371	△ 657
現金及び現金同等物の 増減額	1,858	2,278
現金及び現金同等物の 期首残高	24,043	25,902
現金及び現金同等物の 期末残高	25,902	28,181

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.fujitec.co.jp/ir>



企業データ

■ 会社の概況 (2020年3月31日現在)

創業 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円

■ 役員 (2020年6月23日現在)

[取締役]

代表取締役社長 内山 高一
 代表取締役副社長 岡田 隆夫
 取締役 加藤 義一
 浅野 隆史
 社外取締役 佐伯 照道
 杉田 伸樹
 山添 茂
 遠藤 邦夫
 山平 恵子

[監査役]

社外監査役(常勤) 石川 賢一
 監査役(常勤) 宇都宮靖雄
 社外監査役 池田 辰夫
 平光 聡

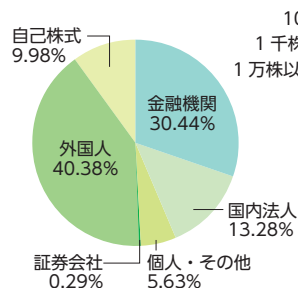
■ フジテック・グループ

日本	本社ビッグウイング 東京本社	滋賀県彦根市宮田町591番地1 TEL (0749) 30-7111 東京都港区白金1丁目17番3号 TEL (03) 4330-8200
東アジア	香港 台湾 韓国 中国	FUJITEC (HK) CO., LTD. 富士達股份有限公司 FUJITEC KOREA CO., LTD. 華昇富士達電梯有限公司/上海華昇富士達扶梯有限公司/富士達電梯配件(上海)有限公司/上海富士達電梯研究有限公司/上海泰及商貿有限公司
南アジア	シンガポール フィリピン マレーシア インドネシア インド ベトナム タイ スリランカ ミャンマー	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD. FUJITEC, INC. FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD. P.T. FUJITEC INDONESIA FUJITEC INDIA PRIVATE LTD. FUJITEC VIETNAM CO., LTD. FUJITEC (THAILAND) CO., LTD. FUJITEC LANKA (PRIVATE) LTD. FUJITEC MYANMAR CO., LTD.
北米	アメリカ カナダ グアム	FUJITEC AMERICA, INC. FUJITEC CANADA, INC. FUJITEC PACIFIC, INC.
南米	ベネズエラ アルゼンチン ウルグアイ	FUJITEC VENEZUELA C.A. FUJITEC ARGENTINA S.A. FUJITEC URUGUAY S.A.
欧州・中東	イギリス サウジアラビア エジプト	FUJITEC UK LTD. FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD. FUJITEC EGYPT CO., LTD.

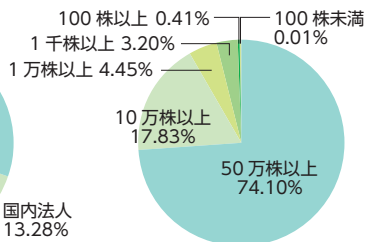
株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式の総数	株主数	上場証券取引所
90,067,000株	3,710名	東京証券取引所

■ 所有者分布状況



■ 所有株数別分布状況



■ 大株主一覧

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	50,439	6.22
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	43,956	5.42
3. 株式会社りそな銀行	40,516	5.00
4. チェース ノミニーズ リ ジャスデック トリーティークライアント アカウント ジェネラル	34,278	4.23
5. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	31,912	3.94
6. ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	28,710	3.54
7. エイブアイ グローバル トラスト ピーエルシー	20,001	2.47
8. 株式会社みずほ銀行	19,892	2.45
9. エムエルアイ フォークライアントジェネラル オムニノンコラテラルノントリーティーピービー	17,120	2.11
10. ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 380578	17,111	2.11

(注1) 持株比率は2020年3月31日現在の発行済株式総数である90,067,000株から自己株式8,985,121株を除いた81,081,879株を基準に計算しています。

(注2) 当社は自己株式8,985,121株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：https://www.fujitec.co.jp/koukoku
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）

トピックス

国土交通省の「建設マスター」に当社社員が選出されました。

国土交通省が建設産業の優秀な技能者を顕彰する「優秀施工者国土交通大臣顕彰（通称：建設マスター）」に、当社東関東支店の阿部龍也が昇降機設置分野で選出されました。31年間の無事故・無災害実績、海外法人での据付指導経験、各種技能資格取得などが評価されました。このような優秀なベテラン技能者からの技術伝承を通じて、今後も人材育成に努めてまいります。



小学生向けのエレベータ安全教室を開催しています。

フジテックでは、小学生を対象にエレベータ・エスカレータの安全な乗り方を啓発する「安全教室」を実施しています。昇降機の事故やけがをなくす目的で2013年から行っている取り組みです。2019年度も当社の本社がある滋賀県彦根市と米原市、東京都港区の小学校計4校に向けて開催しました。

子どもたちがより“安全・安心”にエレベータ・エスカレータを利用できるよう、これからもフジテックは安全啓発活動を進めていきます。



昇降機ビジネスを通じてSDGsへ貢献します。

フジテックが経営理念として掲げる「人と技術と商品を大切にして、新しい時代にふさわしい、美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創」ることは、まさにSDGsの目標そのものです。

私たちは、この理念のもと、昇降機ビジネスを通じてSDGsが狙う社会づくりに貢献します。2019年度からスタートした中期経営計画では SDGsへの取り組みをコーポレート戦略の柱のひとつに位置付けています。



インフォメーション

新しい生活様式へ適応するエレベータを目指して 新標準型エレベータ「エクシオール」に衛生面の機能を充実

2020年4月1日から販売を開始した新標準型エレベータ「エクシオール」に、エレベータをタッチレスで操作できる「非接触呼び登録」や「抗菌ボタン」など、衛生面の機能を拡充しました。また、かご内の混雑状況を乗場で事前に把握できる「混雑度表示」を新機能として搭載し、ソーシャルディスタンス(他者との距離を確保すること)に配慮した利用を可能にします。

公衆衛生への意識が高まるなか、さらに快適で“安全・安心”な移動空間を提供します。

●非接触呼び登録

赤外線ビーム式のセンサーを用いた操作盤に手をかざすと、エレベータの呼び登録や行き先階登録ができます。ボタンに触らずエレベータを操作できるため衛生的です。



●抗菌ボタン

エレベータの乗場、かご内に設置されたボタンは、素材に細菌の増殖を抑制する抗菌性樹脂を採用しました。多くの方が触れるボタンを安心してご利用いただけます。



●混雑度表示

かご内の混雑状況を乗場インジケータに5段階で表示します。利用者はエレベータにどのくらいの人が乗車しているか事前に把握できるため、「混んでいるから階段を使おう」などの、判断の一助となります。



フジテック株式会社

UD
FONT

見やすく読みまちがえに
くいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE
OIL INK

環境負荷の少ない「植物
油インキ」を使用してい
ます。

ミックス
責任ある紙
FSC
www.fsc.org
FSC® C007718

適切に管理された森林の木
材を原料として生産された紙
を使用しています。